

## 盛況のオープン・キャンパスと「おかしなゼミナール」

オープン・キャンパスは午前と午後あわせて 750 名が参加して、昨年に比べてほぼ倍増して盛況であった。とくに午前は開始 1 時間前から長蛇の列ができ、てんてこ舞いであった。マルチメディアで結んだ 2 階の 3 教室を全体会場にして、映像を駆使した説明会となった。リハーサルを繰り返して準備してきたが、事務局の奮闘により、盛況のうちにオープン・キャンパスが終わって、ほっとしている。



今回は全体の説明をなるべく短くして、施設案内や各種「催し」に重点をおいた。各学科とも趣向をこらして準備してきたが、現代社会学科では学科の説明会とともに、研究室公開や公開ゼミナールという「催し」を企画した。29 日のレポートでも案内したように、公開ゼミナールは山田ゼミと堀江ゼミの 2 つである。堀江ゼミの「男と女、得なのはどっち?? ~ 『らしさ』に縛られる人々」については、安井君のレポートを参照してもらいたい。参加者アンケートによっても、よく準備されたテーマだけあって評判がよかった。



山田ゼミの「おかしなゼミナール」は、多忙な 4 年生が中心であったこともあり、ぶっつけ本番で準備不足は否めなかった。それでも柳生君の名司会と日ごろの「おかしなゼミ」を再現させて、なんとか無事に終わることができた。来年以降も公開ゼミナールを持続できればと思う。

(8月4日記)